
令和3年度北栄町高校生議会会議録

令和4年2月24日（木曜日）

議事日程

令和4年2月24日 午前9時30分開会

日程第1 会議録署名議員の指名

日程第2 会期の決定

日程第3 諸般の報告

日程第4 一般質問

出席議員（16名）

1番 大家真菜君	1番 上村莉央君	2番 山根茅乃君
2番 奥村乃愛君	3番 中川愛夢君	4番 谷本海君
5番 友野勇次君	6番 谷口彩香君	6番 中村結菜君
7番 門原健太君	8番 倉本祥伍君	9番 鷲見萌君
10番 加茂田楽夏君	11番 笹山知沙君	12番 石川遥斗君
13番 川上千尋君		

欠席議員（2名）

13番 永禮美桜奈君 13番 脇坂紘貴君

議長（1名）

議長 田村佑市郎君

北栄町議会事務局出席職員職氏名

事務局長 大庭由美子君 事務補佐員 長谷川利恵君

説明のため出席した者の職氏名

町長	手嶋俊樹君	副町長	岡本圭司君
教育長	別本勝美君	総務課長	磯江昭徳君
企画財政課長	小澤靖君	観光交流課長	松本裕実君
環境エネルギー課長	杉本裕史君	教育総務課長	中原浩二君
生涯学習課長	手嶋寿征君		

午前 9 時 23 分 高校生議会開会式

○事務局長（大庭 由美子君） それでは時間になりましたので、高校生議会の開会式を行います。

初めに、北栄町議会議長 津川俊仁が御挨拶いたします。

北栄町議会議長あいさつ

○町議会議長（津川 俊仁君） 皆さんおはようございます。高校生議会の開催に当たり一言御挨拶申し上げます。本日、ここに第 8 回高校生議会の開催を迎え大変うれしく思っております。振り返れば平成 27 年 1 月、第 1 回高校生議会が開会されて以来毎年新鮮ですばらしい質問が出され、大いに刺激を受けてまいりました。高校生議員の皆さんには、先輩議員に負けない質問戦を期待しています。皆さんの発言や提案は、育英高校及び北栄町議会のホームページに過去 7 年間分と併せて掲載されていると思いますが、歴史にしっかりと足跡を残してください。

さて、去年の高校生議員から配膳サービスの弁当に小中高生の便りをつけてはどうかという質問が出されました。町長は前向きな答弁をされ、昨年秋、社会福祉協議会を通じて手紙つきの弁当が実現し、とても喜んでいる高齢者の写真や感想の報告をお聞きしました。また、北栄町図書館のオープンギャラリーが整備されたのも先輩議員の提案を受けての実現の結果であります。本日の議会では大上段に構えて立派なことを発言する必要はありませんが、皆さんの質問で北栄町が変わっていくことが実感できたらうれしく思います。そんな高校生議会になるよう期待もしております。高校生議会の議員の皆さんには、少しのプレッシャーと大きなエールを送り、高校生議会の開催に御尽力いただいた鳥取中央育英高校の先生方や関係者の皆様に感謝申し上げ、御挨拶とさせていただきます。本日 1 日、よろしく願います。

○事務局長（大庭 由美子君） 続きまして、北栄町長手嶋俊樹が御挨拶いたします。

北栄町長あいさつ

○町長（手嶋 俊樹君） 皆さんおはようございます。また雪になってしまいましたけど、鳥取中央育英の校長先生をはじめ教職員の皆様、そして生徒の皆様には、地域探究の時間を通して北栄町のために真剣に取り組んでいただいていることを感謝申し上げたいと思います。本日はその一環として皆様からの御意見、御要望等をいただくことになっております。この議会、議場、独特な雰囲気があると思います。ただこの雰囲気については、これからの人生にとっても役に立つよい経験になると思います。これまでもいろいろな御意見をいただいて、例えば街路灯を設置したりだとか、あるいはギャラリーを設置したりだとか、いろいろなことを提案していただき実現もしております。皆様にとっては本当によい経験になると思いますので今日もしっかりとした提案をいただいて、私も、あるいは教育長も答弁していきたいと思います。

まだまだ新型コロナウイルス感染症の影響が続いております。昨日も 200 人を超えたと

いうふうなこともございます。どうぞコロナ対策はしっかりしていただいて勉強やスポーツに頑張っていたきたいなど、このように思っているところであります。本日の会が皆様にとって本当に有意義な会になりまして、これからの経験によくなるような機会になることを祈念して開会に当たっての御挨拶とさせていただきます。本日はどうぞお手柔らかによりしくお願いいたします。

- 事務局長（大庭 由美子君） 最後に、鳥取中央育英高等学校 高垣知博校長に御挨拶をお願いします。

鳥取中央育英高等学校長あいさつ

- 校長（高垣 知博君） こんにちは。学校を代表しまして、一言お礼と挨拶とさせていただきます。まずは、8回目となる高校生議会をこのように開催していただきましてありがとうございます。津川議長様、手嶋町長様をはじめとする議員の皆様や、職員の皆様方に御指導、御助言いただいて何とか今日の日を迎えることができました。また、当初開催を予定していた1月に開催が不可能かなと思った時には、議長さんにも町長さんにもぜひやりましょう、待っていますと強く言っていただいて、この高校生議員の皆さんも努力が無駄になることなく、心折れることなく、今日の日を迎えることができました。本当に感謝申し上げます。

本日の発表は、本校が取り組んでいる地域探究の時間の活動の延長にあるものです。この高校生議会は、この取組の一つの集大成として位置付けていますし、ますますその意義は重要さを増しているところですよ。と言いますのも、ここにおられる方々も御覧いただいた方もおられるかと思うんですけども、昨年度までは地域創造ハイスクールサミットというのを、他校を招いて開催していました。それを今年度から取りやめることといたしました。コロナのこともあるんですけども、目的は一つ、2年生全体、育英生全体の成長です。ハイスクールサミットは11月に行う校内予選を勝ち抜いた1グループだけが参加していましたので、それ以外のグループ、生徒の活動はそこで終わってしまうということでした。そこでその校内予選、校内発表会を1月末とぐっと遅らせて、その全てのグループが最後の最後まで活動して探究を深めたり、あるいは発表の技術を高めるということを狙いとしています。ですので、その直前に予定してるんですけども、この高校生議会で、異なる視点で議員の皆様から御教示いただくということは本当に最後の仕上げで貴重な活動になっているところですよ。

この地域探究の時間や高校生議会の取組が評価されまして、この1月に本校はキャリア教育優秀校として文部科学大臣賞を受賞することになりました。また、そういった探究活動の立ち上げに尽力された田中暁宏先生もその取組が評価されて優秀教員ということで文部科学大臣賞を受賞されました。田中先生からは、この受賞の荣誉に預かったのは、北栄町の議会、役場をはじめとする関係の皆様が支援して活動を引っ張ってくださったおかげで注目を浴びることとなって受賞につながったと、くれぐれもよろしくお伝えくださいということでした。改めて私からもお礼申し上げます。ありがとうございました。

さて、本校、令和5年度から学級減ですとか志願者の面でもなかなか難しい課題に直面していますが、生徒のみんなは本当にきちんと成長してくれています。なかなかその取組

や良さが伝えられてないのは残念なところですけども、令和5年度からは制服もリニューアルいたします。外見だけでなくもちろん中身も進化してまいります。ぜひ今後とも鳥取中央育英高校を気にかけていただいて御支援賜りましたら幸いです。

本日はありがとうございます。高校生議員の皆さん、短い時間ですけども楽しみましょう。

○事務局長（大庭 由美子君） 以上で、開会式を終わります。

○事務局長（大庭 由美子君） それでは、これより高校生議会の本会議を始めます。

北栄町議会議長による、高校生議長の指名

○町議会議長（津川 俊仁君） 高校生議会の開会に当たり、議長として、田村佑市郎議員を指名します。田村佑市郎議員は議長席へおつきください。

午前9時34分開会

○議長（田村 佑市郎君） ただいま議長の指名を受けました、鳥取中央育英高等学校2年の田村佑市郎です。鳥取中央育英高等学校と北栄町にとって有意義な高校生議会となりますよう、皆さんの御協力をよろしくお願いいたします。

○議長（田村 佑市郎君） それでは会議を始めます。ただいまの出席議員は17人です。定足数に達していますので、これより令和3年度北栄町高校生議会を開会します。

なお、13番永禮美桜奈議員、脇坂紘貴議員から欠席届が提出されています。

直ちに本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元に配布したとおりです。

日程第1 会議録署名議員の指名

○議長（田村 佑市郎君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。高校生議会の会議録署名議員は、議長において、1番、大家真菜議員、上村莉央議員を指名します。

日程第2 会期の決定

○議長（田村 佑市郎君） 日程第2、会期の決定を議題とします。

お諮りします。高校生議会の会期は、本日1日としたいと思います。これに御異議ありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○議長（田村 佑市郎君） 御異議なしと認めます。よって、会期は本日1日と決定しました。

日程第3 諸般の報告

○議長（田村 佑市郎君） 日程第3、諸般の報告をします。
本会議の出席者は、お手元に配布した資料のとおりです。

日程第4 一般質問

○議長（田村 佑市郎君） 日程第4、一般質問を行います。

届出順により順次質問を許します。

1番、大家真菜議員、上村莉央議員。

○議員（1番 上村 莉央君、大家 真菜君） 1番、上村莉央です。大家真菜です。

○議員（1番 上村 莉央君） 私たちは、北栄町に大学のサテライト教室設置について町長、教育長に伺います。

北栄町には現在、鳥取大学などの学生たちがまちづくりなどの学びを求めて訪町していると聞きました。まちづくりの発展のために、この流れは非常に貴重で好ましいことだと思います。

○議員（1番 大家 真菜君） ぜひ、大学本館といつでもサテライト授業ができるよう施設整備をしてはどうでしょうか。育英高校は、現在大栄小・中学校と交流を行っており、施設があれば小学校から大学、地域住民との交流の場となり町の発展に大きく貢献できるのではないのでしょうか。

○議長（田村 佑市郎君） 手嶋町長。

○町長（手嶋 俊樹君） 大家議員、上村議員の御質問にお答えします。

鳥取県中部に大学のサテライト教室設置をについての御質問です。

全国的に見れば、大学のサテライトキャンパス等を誘致できるよう活動を行っている自治体があります。平成30年の国の調査結果によれば、過去に誘致活動を行ったことがある自治体は全体の約26%。北栄町と同規模の自治体では13%にとどまっています。実際に誘致にまで至ったケースは、以前と比較すると減少傾向のようです。自治体側が期待するメリットと、大学側のメリットで折り合いがつかないケースも多いのではないのでしょうか。

また最近では、新型コロナウイルス感染症の休校でオンライン授業が普及しました。自宅に居ながら授業が受けられる環境が整い、サテライトキャンパス、サテライト教室に対する考え方も変化していると考えられます。

サテライトキャンパスについて鳥取大学の状況を申しますと、2014年に鳥取駅近くにサテライトキャンパスが設置されていました。大学の教育、研究、地域貢献活動のまちなか

の拠点として設置されたようですが、現在はこの施設は閉鎖され、大学敷地内の一角に場所を移しそこで活動をされているようです。

北栄町の状況を申しますと、現在、北栄町と鳥取大学とは連携事業に取り組んでおります。この活動の中で、学生には北栄町をフィールドワークの場として活用していただいているところです。今後も連携を続け、大学や学生からの提案や刺激を北栄町の地域振興に生かしていきたいと考えております。

さきの国の調査でまとめられていた自治体が誘致活動を行う目的は、人口減少対策、新産業と雇用の創出でした。議員御提案のとおり、サテライト教室があることで地域内で活動する若者が増え地域のにぎわいが生まれることも考えられます。

しかしながら現状を踏まえると、サテライト教室の設置が求められているのか、設置する適当な場所があるのか、北栄町としてのメリットはあるのか、そういった確認や整理をすべき点が多くあります。このため、現時点でサテライト教室の設置や誘致活動は、難しいのではないかと考えています。

今後、現在行っている鳥取大学との連携が深まり設置への機運が高まることがあれば、その時点で考えてみたいと思います。

○議長（田村 佑市郎君） 別本教育長。

○教育長（別本 勝美君） 大家議員、上村議員の、鳥取県中部に大学のサテライト教室設置をについての御質問にお答えいたします。

先ほどの町長答弁のとおり、現時点でサテライト教室の設置は難しいと考えておりますが、オンライン形式での学習や交流はできるのではと思っています。

現在、学校と地域とのつながりという点でいえば、コミュニティスクールというものがあります。学校と地域とが共通の目的を持ち、連携・協働して子どもたちの教育を進めていくという考え方ですが、北栄町内の小・中学校でも、北条・大栄の中学校区ごとで活動が始まっているところです。地域と一緒に、何ができるのかを模索しながら動き出しております。

また、北栄町と鳥取大学との地域連携事業の例でも言えるかもしれませんが、学校教育を取り巻く情勢や動きは、学校教育が学校内だけにとどまらず地域を巻き込み、学校や学生が地域に活動の場を広げながら子どもたちを育てていこうとする方向に進んでいます。

議員御提案のサテライト教室も、学校と地域の新たな連携の形が生まれるかもしれませんが。大学という高等教育機関が町内にあることのメリットへも期待が膨らむところではありますが、北栄町としては、まずはコミュニティスクールの取組や鳥取大学との連携事業など現在進めている取組をしっかりと行い、学校と地域の関係性を形づくっていくことを優先的に考えたいと思っています。

○議長（田村 佑市郎君） 上村議員。

○議員（1番 上村 莉央君） 追加質問をさせていただきます。

サテライト教室が設置可能となれば、具体的にどのような活動を考えられていますか。

○議長（田村 佑市郎君） 手嶋町長。

○町長（手嶋 俊樹君） 仮定の話になると思いますが、やはり目的は、北栄町にサテライト教室を持ってくるということは、以前のその鳥取大学の考え方という、湖山にあるいろいろな学習の場を町なかに移していくというような、分散していくというような目的でたしかつくられたと思いますので、なかなか鳥取大学の主とする目的と北栄町の目的がう

まくいかないとなかなか難しいなどは思います。そういうことを考えると、なかなか仮定としてこういうことができるのではないかということになれば今の連携事業で取り組んでいるようなことをやっていただくとか、そういうような感じしか今のところ私は持っていません。何かよい提案がありましたらお願いしたいと思います。

○議員（1番 上村 莉央君） 以上で質問を終わります。

○議長（田村 佑市郎君） 以上で、大家議員、上村議員の一般質問を終わります。
次に進みます。

○議長（田村 佑市郎君） 2番、山根茅乃議員、奥村乃愛議員。

○議員（2番 奥村 乃愛君、山根 茅乃君） 2番、奥村乃愛です。山根茅乃です。

○議員（2番 奥村 乃愛君） 動物愛護センターとの連携について質問させていただきます。

殺処分されてしまう動物を保護し、健康管理やしつけ、トレーニングなどを行い、新しい飼い主を見つけマッチングする活動をされていることを知りました。活動の資金として寄付金が充てられていることを知り、より多くの人に協力を得られる場づくりに一役かえないかと考えます。

そこで、動物愛護センター「アミティエ」の活動とその趣旨を周知してもらうためのイベントを、北栄町がアミティエと連携して開催してみてもは。また、里親を増やすことにもつながるのではないかと考えます。

○議員（2番 山根 茅乃君） 動物と触れ合うことによりストレス解消、癒し効果があります。人の脳から幸せホルモン「オキシトシン」が分泌されると学びました。

そこで、アミティエと連携して触れ合い体験を町内施設で行ってみてはどうでしょうか。福祉施設のお年寄りやこども園の子どもたちが動物と触れ合うことによりストレス軽減になるのではないかと考えます。以上です。

○議長（田村 佑市郎君） 手嶋町長。

○町長（手嶋 俊樹君） 山根議員、奥村議員の御質問にお答えします。

動物愛護センター「アミティエ」との連携についての御質問です。

今回、住民対象で行われている「地域猫勉強会」に参加したり、アミティエに実際に見学に行ったりされたことは、社会の現実や具体的にどんな取組をされているかを正しく理解していく上でとても有意義な学びだったと思います。

その学びの中で、アミティエと北栄町とのイベントや高齢者や子どもの利用施設において保護されている動物との触れ合いについて御提案をいただきました。早速、アミティエの理事長に相談しましたところ、外部に出かけてのイベント、高齢者や子どもたちとの触れ合いについては、保護している猫や犬などの安心安全な移動や居場所として防護柵やト

イレ、水道などの、安全面や衛生面に配慮できる施設・設備の確保、受入れ態勢、移動経費、そして現在のコロナ禍による制限など多くの課題があり困難とのことでした。

これらのことを踏まえ北栄町としましては、既にアミティエが行われている毎年9月開催の動物愛護フェスタと毎月開催のアミティエフェスタなどの行事や活動を、町民をはじめより多くの方々に周知、啓発していくことを中心に連携していければと考えます。

なお、このように皆さんが実際に学び、体験を通して提案されることはとても素晴らしいことだと思います。できれば、この地域探究の時間で考えられた内容に対し今後も関わっていただいたり、後輩に引き継いだりしてより継続的な取組にするなど、できる形で行動へつなげていくことがとても大切だと思います。アミティエの活動、活動のPRなどについてできる形で自分たちも関わりながら行う提案をいただければ、皆さんの行動は人と動物とのよりよい共生を実現するために社会全体により影響を与えたいと思いますので、サポートしていきたいと考えています。

○議長（田村 佑市郎君） 奥村議員。

○議員（2番 奥村 乃愛君） 追加質問をさせていただきます。

北栄町にいる野良猫の対処はどうされますか。

○議長（田村 佑市郎君） 手嶋町長。

○町長（手嶋 俊樹君） 現在、野良猫……。 「野良猫」と言うんですかね、ちょっと名前がよく分からないですが、避妊とか去勢とかをやっていただいたら、それに対して補助をしていく。だから、すぐに餌を与えたりとか、そういうことをしてはいけませんよという周知をしながら数を増やさないようにというような対応をさせていただいています。

○議長（田村 佑市郎君） 奥村議員。

○議員（2番 奥村 乃愛君） 以上で質問を終わります。

○議長（田村 佑市郎君） 以上で、山根議員、奥村議員の一般質問を終わります。

次に進みます。

○議長（田村 佑市郎君） 3番、中川愛夢議員。

○議員（3番 中川 愛夢君） 3番、中川愛夢です。東高尾観音寺について教育長に質問します。

現在、東高尾観音寺の仏像を拝観するためには事前に担当の方と日程を合わせて収納庫を開けてもらう必要があります。仏像巡りをされている方のホームページにおいても、拝観の難しさや観音寺まで来たものの仏像を見ることができなかったという記事もあり、観光への影響も心配されます。

また、文化財保護を取り巻く環境は今後厳しくなっていくことが予想される中、アクセスのハードルを下げできるだけ多くの人に公開し、関係者の裾野を広げていくことが必要ではないでしょうか。

さらに文化財保護の観点から、町としてどのような手入れをしているのか、本堂に木が被さっているような現状もあり、また今後も環境維持のために継続的な整備を行う必要があります。貴重な文化的価値のある施設をどのように保護していくつもりか伺います。以上です。

○議長（田村 佑市郎君） 別本教育長。

○教育長（別本 勝美君） 中川議員の東高尾観音寺についての御質問にお答えします。

初めに、東高尾観音寺の拝観についてですが、現在、拝観するには東高尾観音寺の総代会の方にあらかじめ予約の連絡をして、収蔵庫の鍵を開けていただく必要があります。そのため、気軽にちょっと見に行ってみようかというわけにはいきませんので、観光でお越しの方も含め拝観を希望される方にとっては面倒だと感じられるかもしれません。しかし、鍵を管理する責任総代の方は御自身の仕事を持ちながら拝観のための時間を取っておられる状況ですので、その辺りの事情を御理解いただければと思います。

また本町では、昨年7月、北栄町文化財保存活用地域計画を策定いたしました。この計画の中で未指定を含めた有形・無形文化財を十分に評価した上で、まちづくりに生かすつつ文化財継承の担い手を確保し、地域社会総がかりで文化財の保存・活用に取り組んでいくことのできる体制を整備していくことを目標としています。東高尾観音寺の方や文化財に興味のある方、観光でお越しの方を含め、たくさんの方とつながりを持つことで裾野が広がると思いますので、今後も関係していただける方を増やしていくよう努力していきたいと考えています。

次に、文化財保護の観点から町はどのような手入れをしているのかとのお尋ねです。町教育委員会としましては、国指定文化財を含む仏像の管理報償費を総代会へ毎年お支払いするとともに、5年に1回程度、仏像を守るため薬剤を使用した虫対策の薫蒸を行っています。観音寺本堂につきましては、木が生い茂り傷みも進んでいることは承知いたしております。本堂は、町などが指定した文化財ではありませんが地域にとって価値が高いものだ認識していますので、町教育委員会といたしましても施設整備の財源確保の手法について一緒に考えていくなど、管理されている地域の方々と関りを持ちながら維持管理や保存方法等について進めていければと考えているところでございます。

○議長（田村 佑市郎君） 中川議員。

○議員（3番 中川 愛夢君） 追加質問をさせていただきます。

毎月何曜日など、拝観日を決めてもらうことは可能でしょうか。

○議長（田村 佑市郎君） 別本教育長。

○教育長（別本 勝美君） 曜日を決めての拝観ということですが、先ほど答弁でも申し上げましたが、収蔵庫の鍵を開けることに関しては責任総代の方に開けていただく必要がありますので、その方が生業を持っておられますのでそういう対応ができるのかどうかということについてお伺いをしてみたいと思います。

○議長（田村 佑市郎君） 中川議員。

○議員（3番 中川 愛夢君） 以上で質問を終わります。

○議長（田村 佑市郎君） 以上で、中川議員の一般質問を終わります。

次に進みます。

○議長（田村 佑市郎君） 4番、谷本海議員。

○議員（4番 谷本 海君） 4番、谷本海です。2つ町長に質問させていただきます。

まず1つ目は、観光地での手作りのお土産についてです。

観光客を増やすため、観光地で手軽に作れて持ち帰ることのできる自分たちの体験型手作りお土産を作れるようにしてはどうでしょうか。

例えば、現地の自然の中から落ち葉などを拾い挟んだり、観光地のパンフレットやチラシの余りを使ったり、自分の撮った写真をその場で印刷して加工するラミネート加工をして作る本のしおりなどを作ってみたいはどうでしょうか。そのために、観光地にラミネーターを準備したり、道の駅に写真が印刷できるようなサービスをしてはどうでしょうか。

2つ目は、観光地をつなぐ写真のフレーム作成についてです。

観光マップを作り、その写真に自分たちが撮った写真をはめ込めるような写真フレームを作り、自分たちだけの観光マップを作成できるようにホームページのフレームを作っておくのはどうでしょうか。そして観光マップの作成者に、道の駅で投稿したら粗品を進呈するのはどうでしょうか。以上です。

○議長（田村 佑市郎君） 手嶋町長。

○町長（手嶋 俊樹君） 谷本議員の御質問にお答えします。

まず初めに、観光地で手作りのお土産についての御質問です。

体験型手作りお土産を作るためには、材料、機材、ワークスペース、指導者、施設を管理する職員等が必要と考えられます。御提案いただいた、自然の落ち葉や不要となったパンフレットやチラシを活用し手作りお土産を作ることは、材料費のコストが抑えられる点では優れた提案だと思います。

しかしながら、町内にある2か所の道の駅は、現在、民間の事業者到店舗を貸し出ししており常駐している職員がいないこと、また、ワークスペースがありませんので手作りお土産を作成することは難しいのではないかと考えております。

北栄町の体験型観光メニューとして、遊楽隣工房の手作り和紙灯りや和紙のしおり作り、フレンズカンパニーの手焼きせんべい体験があります。観光客の方々には、ぜひこちらを体験していただきたいと思います。

次に、観光地をつなぐ写真フレームについての御質問です。

北栄町の公式の観光マップに個人の方の写真が挿入され、御提案のような観光マップが作成されそれが発信されますと、町が意図しない情報まで発信される恐れがありますので、観光マップに写真フレームを作りホームページに掲載することは考えていません。

しかしながら、写真フレームの構成、制作費用など課題はあると思いますが、写真フレームをホームページに掲載することについては、旅行に行く前に北栄町のどこに行こうかと考える楽しみ、旅行中に写真を撮影する楽しみ、旅行が終わった後に写真フレームを作成する楽しみと、旅前、旅中、旅後それぞれの楽しみが考えられますので検討してみたいと思います。

○議長（田村 佑市郎君） 谷本議員。

○議員（4番 谷本 海君） 追加質問させていただきます。

ほかに、北栄町で行っている観光客を増やす取組があれば教えてください。

○議長（田村 佑市郎君） 手嶋町長。

○町長（手嶋 俊樹君） 現在のところ、例えば観光農園でありますとか、いろいろなイチゴであったりブドウであったり、いろいろな観光農園等を巡るような、そういうこともやっておりますので、そういうところを観光に来られた方に紹介していております。

○議長（田村 佑市郎君） 谷本議員。

○議員（4番 谷本 海君） これで終わります。

○議長（田村 佑市郎君） 以上で、谷本議員の一般質問を終わります。

次に進みます。

○議長（田村 佑市郎君） 5番、友野勇次議員。

○議員（5番 友野 勇次君） 5番、友野勇次です。

僕は、由良の浜にビーチスポーツパークをつくることについて町長に質問します。

北栄町は砂浜に恵まれているため、その資源を生かし北条のオートキャンプ場に常設の「ビーチサッカー」「ビーチバレー」「ビーチテニス」等のビーチスポーツを楽しむことができるトイレ、シャワーなどの施設を整備し、ビーチスポーツの聖地的な海辺を目指すのはいかがでしょうか。コナン、キャンプとセットとなり観光業に大きく貢献できると思います。

○議長（田村 佑市郎君） 手嶋町長。

○町長（手嶋 俊樹君） 友野議員の御質問にお答えします。

由良の浜にビーチスポーツパークをつくってはとの御質問です。

由良の浜につきましては、海岸浸食によって後退し砂浜が年々減ってきているところです。また、国道9号線山陰道路の整備によって周辺の松林も道路計画にかかっていますので、海岸線そのものが大きく変わろうとしています。

そのような中、御提案のビーチスポーツパークの構想は、町民の皆様に改めて由良の砂浜を資源として見直すよいきっかけになると思います。

しかしながら、国道9号線山陰道路の整備や県が行っております海岸浸食への対策、お台場キャンプ場の閉鎖などにより実現は難しいと思います。

いろいろ御提案あるかもしれませんが、今後とも本町のスポーツ振興にいろいろと御協力いただければと思います。以上で終わります。

○議長（田村 佑市郎君） 友野議員。

○議員（5番 友野 勇次君） 以上で質問を終わります。

○議長（田村 佑市郎君） 以上で、友野議員の一般質問を終わります。

次に進みます。

○議長（田村 佑市郎君） 6番、谷口彩香議員、中村結菜議員。

○議員（6番 谷口 彩香君、中村 結菜君） 6番、谷口彩香です。中村結菜です。

○議員（6番 谷口 彩香君） 関係人口について町長に質問します。

私たちは、関係人口の創出について探究活動をしてきました。

全国的に人口が減少していくことが予想される中で、どこかの地域だけが流入人口を増やすことはほかの地域のさらなる人口減少を招き、日本全体としては利益に結びつきません。そこで、定住人口ではなく観光以上定住未満といわれる関係人口に着目すると、移住・定住へのハードルを下げ、地域の行事の担い手やワーケーションを通じた地域経済への貢献など少子高齢化対策が見えてくるのではないのでしょうか。

関係人口に注目したプランはお持ちでしょうか。

○議長（田村 佑市郎君） 手嶋町長。

○町長（手嶋 俊樹君） 谷口議員、中村議員の御質問にお答えいたします。

関係人口の創出についての御質問です。

関係人口に注目したプランを持っているかということですが、北栄町まちづくりビジョンで関係人口の増加に取り組むこととしています。私としては、地域課題解決に取り組む中で北栄町に関わる方が生まれる、それが関係人口だろうと思っております。そういった意味で考えますと、この高校生議会や皆さんが行っております地域探究の時間も関係人口

を創出する事業だと言えます。町としましても、鳥取中央育英高校の皆さんが卒業し、進学・就職され、将来北栄町の関係人口となっただけの際には、北栄町のことを思い、何らかの形で貢献していただけることを期待しているところでございます。

また、地域外からの交流の入り口を増やすことや、地域住民との交流の機会を創出することも関係人口の創出につながると考えております。そのため、町では農家民泊の活動支援を行い、これまでに修学旅行の受入れなどを行ってきました。農業体験を通して、地域住民との交流を深めていただく機会をつくり出しております。現在、新型コロナウイルス感染症の影響で受入れは中止しておりますが、影響がなくなれば再開したいと考えております。

このほかイチゴやブドウ栽培、コナンのまちづくりなどに関わる多様な人材を地域おこし協力隊として県外から受け入れております。この地域おこし協力隊は、地域おこし等のプロジェクトを通して、数年にわたり地域に関わることができることから、移住・定住にもつながりやすい取組となっております。

これらの取組を通じて関係人口の創出、そしてその先の将来の移住・定住を促すための仕組みを整えているところであります。

○議長（田村 佑市郎君） 中村議員。

○議員（6番 中村 結菜君） 追加質問をさせていただきます。

私たちは地域探究活動の中でワーケーションやプロボノについて調べましたが、いずれも大企業や特別な職種の人に限定されてしまいます。移住した方の、大学での出会いや体験が影響したという話からヒントを得たのですが、担い手不足で困っている地域と、地域おこしや地域デザインなどを学んでいて普通のフィールドワークでは満足しない学生をマッチングして、地域にぐっと入り込むことで面白い発見や経験をして、専門的な知識を地域に提供し気づいたらその地域が第二のふるさとと感じられるようになれば、まさに関係人口としてつながりができるのではないのでしょうか。

高校生より行動に制約がなく、社会人より時間の自由がある学生をターゲットにすることで将来にわたって関係性が生まれます。このような学生の受入れを制度として確立できませんか。お考えをお聞かせください。

私たちの提案の詳しい内容は、地域探究の校内発表会で発表しますのでぜひ聞いてください。

○議長（田村 佑市郎君） 手嶋町長。

○町長（手嶋 俊樹君） ちょっと聞き取りづらいところもありましたけど、もともと関係人口というのが、移住・定住と観光客の間みたいなところで定義はされているんですけど、そういうところから考えますと、今提案のあったようなことも対応させていただきたいと思います。全体としては先ほど答弁で述べさせていただいたとおりでございますが

詳細についてもし付け加えることがありましたら副町長のほうに答弁させます。

○議長（田村 佑市郎君） 岡本副町長。

○副町長（岡本 圭司君） 谷口議員、中村議員の一般質問について、補足の説明をさせていただきます。

お話ありましたとおり、関係人口というのは従来のいいところばかり見ていただく観光とは違いまして、地域の行事に参加いただいたり、地域の困りごとの解決に参加していただくことでより深いつながりができるということですね。おっしゃるとおり、大学生の方というのは地域に初めて深く関わることができますので、大学生の方に関わっていただく、今でも高千穂の地域とかで関わりが生まれておりますけども、それはとても重要です。こういった取組というのは今後も行っていくべきものと考えます。

皆さんがこの議会等でこういう地域の問題に関わっていただくこと、これも大きな関係人口づくりですし、皆さんが、地域とそういった大学生の方をつなぐ案内人として今後も活躍していただければと考えております。町としましても、そういった高校生議会の取組や地域探究の取組を応援することで関係人口の創出を広げていきたいと考えております。以上です。

○議長（田村 佑市郎君） 中村議員。

○議員（6番 中村 結菜君） ありがとうございます。以上で質問を終わります。

○議長（田村 佑市郎君） 以上で、谷口議員、中村議員の一般質問を終わります。

しばらく休憩します。（午前10時14分休憩）

○議長（田村 佑市郎君） 休憩前に引き続き再開します。（午前10時28分再開）

○議長（田村 佑市郎君） 7番、門原健太議員。

○議員（7番 門原 健太君） 7番、門原健太です。スポーツ指導者の養成及び支援について町長、教育長に質問します。

地域探究の学習として、町内の小学生とのスポーツ教室を行いました。このような活動を通して、ジュニア世代のスポーツ活動が盛んになることで町民同士の交流も進み、より活気が出てくると感じました。

スポーツ振興のためには、やはりスポーツ指導者の養成が必要不可欠であると考えます。文部科学省の体力・運動能力調査でも、国や県または市町村に今後力を入れてもらいたいこととして、「スポーツ指導者の養成」が34.9%と10年前より5.8%増加傾向にあります。北栄町としてスポーツ振興のために、スポーツ指導者の養成等の支援策についてどのような考えをお持ちでしょうか。

○議長（田村 佑市郎君） 手嶋町長。

○町長（手嶋 俊樹君） 門原議員の御質問にお答えします。

スポーツ指導者の養成及び支援についての御質問です。

初めに、ジュニア世代のスポーツ活動が盛んになることで町民同士の交流も進み、より活気が出てくるのではないかと御意見です。ジュニア世代のスポーツが盛んになることはとても重要だと考えておりますが、スポーツはどの世代に限らず人々に大きな感動や楽しみ、活力をもたらすとともに、心と体の健全な発達を促してくれるものであり、ジュニア世代のスポーツ活動の活性化だけではなく、その後のライフステージに応じたスポーツ活動の推進という中でも、地域の活性化といったものが育まれるものと考えております。

とりわけ、ジュニア世代では積極的にスポーツを行わない子どももいることから、特に運動神経が飛躍的に伸びる5歳から12歳のいわゆるゴールデンエイジにおいて、スポーツの楽しさや喜びを味わうことができるようにすることが重要だと考えております。体を動かす楽しさや心地よさを実感させ、子どもの運動への興味・関心を高めるとともに、自ら進んで健やかな体を育めるよう、運動習慣が形成される環境の整備を図ることが必要と考えております。

また、スポーツ振興のためにはスポーツ指導者の要請が必要不可欠であるとの御意見については、そのとおりだと考えております。北栄町では、現在スポーツ推進委員25人を委嘱し地域スポーツの普及や指導に当たっていただいております。しかしながら、高齢化等により担い手は不足しており、ニーズや役割に応じたスポーツ指導者の発掘と養成は急務であると考えているところでございます。

スポーツ指導者の養成等の具体的な支援策については教育長に答弁させます。

○議長（田村 佑市郎君） 別本教育長。

○教育長（別本 勝美君） 門原議員の、スポーツ指導者の養成及び支援についての御質問にお答えします。

現在、小学生が加入するスポーツ少年団をはじめ中学校の部活動においても外部指導者の力を借りる動きも出てきていることから、スポーツ指導者の養成に加えて新しく指導者になっていただく人材の発掘についても大きな課題だと認識しています。

スポーツ指導者になっていただいている方の多くはその競技の経験がある方です。本町にも様々な競技歴をお持ちの方がいらっしゃると思いますが、その掘り起こしは十分ではありません。そのため、現在スポーツ事業を委託している北栄スポーツクラブと連携しながら、たくさんの方と関わりネットワークを広げていくことで新しい人材を発掘していく努力をしていきたいと考えております。

次に、指導者の養成支援についてですが、指導者というのは、優秀な成績を収められた人であれば優秀な指導者になるかといえばそうではありません。特に、ジュニア世代の運

動は体を鍛えることよりも心を育むことが重要と考えております。

本町では、スポーツ少年団の育成についても北栄スポーツクラブに委託していますが、北栄スポーツクラブでは毎年ジュニア指導者研修会を実施していただいています。昨年度は、運動能力の向上のための技術だけではなく、どのようにしたら子どもたちが伸びるかについての精神面についてもアドバイスをいただける講師を呼んで実技研修を行いました。今後も適切な指導者養成につながる支援について、町教育委員会としても積極的に行っていきたいと考えております。

○議長（田村 佑市郎君） 門原議員。

○議員（7番 門原 健太君） 教育長に追加質問をさせていただきます。

北栄町は、どのスポーツに力を入れたいとお考えでしょうか。

○議長（田村 佑市郎君） 別本教育長。

○教育長（別本 勝美君） 町教育委員会といたしましては、どのスポーツにということ、特定のスポーツに重点を置いた取組というのは考えておりません。やはり町民の皆さんがスポーツに対していろいろな種目に関心を持っておられると思いますので、その方々が活動できるようなことを考えていきたいと思っております。

○議長（田村 佑市郎君） 門原議員。

○議員（7番 門原 健太君） もう一つ、追加質問させていただきます。

自分は野球部なのですが、大栄球場もあるのでもっと野球に力を入れてほしいと思うのですがどうお考えになりますか。

○議長（田村 佑市郎君） 別本教育長。

○教育長（別本 勝美君） 野球にということなんですけども、スポーツ少年団もそうですし中学校の野球部の活動についても、近年非常に部員が少なくてなかなか学校単独での部活動ができないという状況にあります。私どもの世代からすると、野球部がここまで何かこういう状況になっているというのは非常に寂しい気持ちでいっぱいでございますので、どうしたら野球部の活動が活発になるか、子どもたちが野球に興味が出るようなこともちょっと考えてみたいかなと思っております。

○議長（田村 佑市郎君） 門原議員。

○議員（7番 門原 健太君） ありがとうございます。以上で質問を終わります。

○議長（田村 佑市郎君） 以上で、門原議員の一般質問を終わります。

次に進みます。

○議長（田村 佑市郎君） 8番、倉本祥伍議員。

○議員（8番 倉本 祥伍君） 8番、倉本祥伍です。空き家・空き店舗について町長に質

問します。

空き家・空き店舗をゲストハウスにしてはどうか。

倉吉では白壁土蔵群、湯梨浜では温泉と東郷池、北栄町ではコナンと、観光地はあるのに宿泊する施設が少ないです。北栄町にある空き家をきれいにしておいて、ゲストハウスをやってみたいオーナーを募集し、ゲストハウスを造って2~3日滞在してもらい北栄町を拠点にしていろいろなところを観光してもらえようになれば、北栄町の良さも伝わり空き家もどんどん利用されるのではないのでしょうか。

次に、空き家・空き店舗をチャレンジショップにしてはどうか。

空き家をきれいにしておいて、若いオーナーをネットで募集してみてもどうか。昨年度も提案があったと思いますが、若い観光客が多いので、若い人向けの食べ物の店が増えるといいと思います。チャレンジショップの経験をしてもらい、空き家で店を出してもらうのはどうでしょうか。

○議長（田村 佑市郎君） 手嶋町長。

○町長（手嶋 俊樹君） 倉本議員の御質問にお答えします。

まず初めに、空き家・空き店舗をゲストハウスにしてはどうかについての御質問です。

議員御指摘のとおり、北栄町には宿泊施設が少なく、私といたしましてもゲストハウスや民泊といった施設が増えてほしいと思っております。空き家をきれいにして、ゲストハウスをやってみたいというオーナーを募集してはどうかとのことです。ゲストハウスを運営するということは事業を創業するということですので、オーナーの思いの詰まったゲストハウスとすることが成功の第一歩だと思います。ゲストハウスのオーナーが、自分の運営したいゲストハウスはどんなものか、どういった内装にするかなど真剣に向き合い開業すべきだと考えております。事前に空き家をきれいにしておいてオーナーを募集することは、現在のところ考えておりません。

北栄町では、観光客の心に響く滞在型地域創造事業というゲストハウスや民泊を始めようとする方の支援制度を設けておりますので、この制度を活用してゲストハウスの開業にチャレンジしていただきたいと思っております。

次に、空き家・空き店舗をチャレンジショップにしてはどうかについてでございます。

議員御提案のチャレンジショップは、創業、出店を目指す方にとって、創業、出店の間口を広げる良い方法だと考えられます。一方で、実際にチャレンジショップに取り組んでいる他市町の事例を伺いますと、あくまでもお試し期間の出店のため、将来にわたっての継続的な事業につながっていないケースも多々見受けられるところであります。

本町では、地域に根差した創業を目指す方への支援策として、由良宿まちづくり活性化支援事業と創業支援事業を設けておりますので、現在のところチャレンジショップに取り組むことは考えておりません。なお、これらの支援制度は、新たに創業する方、出店する

方を対象に店舗を改修しホームページの開設など出店に係るPR費などを支援するもので、費用負担を軽減することで出店の後押しをするものであります。引き続きこの制度を継続し、町内で創業される方の支援に努めていきたいと考えております。

○議長（田村 佑市郎君） 倉本議員。

○議員（8番 倉本 祥伍君） 追加質問をさせていただきます。

昨年もあったと思いますが、空き家店舗バンクは今どうなっていますか。

○議長（田村 佑市郎君） 手嶋町長。

○町長（手嶋 俊樹君） 現在、ホームページでも空き家バンクを開設して空き家について紹介させていただいております。詳細については担当課長に説明させます。

○議長（田村 佑市郎君） 松本課長。

○観光交流課長（松本 裕実君） 町長に代わりまして答弁いたします。

空き家バンクにつきましては、引き続き運営しているところでございます。北栄町の空き家バンクにつきましては、空き家の中でも利活用がやりやすいような空き家について登録するようにさせていただいております。

理由といたしましては、多額な費用、例えば1,000万円とか2,000万円とか改修費にかかるような空き家については、やはりバンクに載せてもなかなか利用がないのが現状でございました。ということもありましたので、その辺につきましては専門の方とも協議させてもらって、空き家を見せていただく中でバンクに登録させていただくようにしております。

また、空き家につきましてはこれまで何年も空き家バンクを運営してきておりますけれども、やはりそういったことを考えると利活用のできる空き家というものもなかなかないというのも現状でございます。

○議長（田村 佑市郎君） 倉本議員。

○議員（8番 倉本 祥伍君） これで終わります。

○議長（田村 佑市郎君） 以上で、倉本議員の一般質問を終わります。

次に進みます。

○議長（田村 佑市郎君） 9番、鷺見萌議員。

○議員（9番 鷺見 萌君） 9番、鷺見萌です。移住促進について町長に質問します。

私たちは、環境に配慮しながら豊かな生活を送る方法について話し合ってきました。以下の2点に注目し提案します。

1点目はエネルギーの自給です。春から夏は太陽光電池と蓄電池を活用し、秋から冬にかけてはまきストーブを活用し電力量を抑えます。また、EVやPHVの自家用車を蓄電

池として活用することもできるなど、環境に優しいまちづくりをアピールすることで移住につながると思います。

2点目は食の自給です。住宅と家庭菜園をするための土地をセットにし、野菜やキノコ類などを栽培し、安全な卵を頂くための鶏を飼育します。また、井戸を掘り生活用水も自給するなど幅広くできると思います。

環境に配慮しながら豊かな生活ができるモデル住宅を町内に建て、移住を検討している人に体験していただき、子育て世代には海もあり山も近くにあるという子育て環境、退職世代には老後を自然とともに過ごす落ち着いた暮らしをアピールできると考えていますがいかがでしょうか。以上です。

○議長（田村 佑市郎君） 手嶋町長。

○町長（手嶋 俊樹君） 鷲見議員の御質問にお答えいたします。

移住促進についての御質問です。

まず、エネルギーの自給についてですが、町としましても、地球温暖化対策としてエネルギーの自給や地産地消は重要と考えており、まちづくりビジョンでも再生可能エネルギー等の活用によるまちづくりの推進を掲げております。化石燃料に頼らない、太陽光発電や蓄電池、まきストーブ、EV車を住宅の太陽光と接続したり蓄電池として活用したりするいわゆるV2Hなど、自然エネルギーを有効活用する創エネルギー設備に関しまして風力発電の利益の一部を活用して設置費の助成を行っており、県内市町村の中でも一番多く活用していただいております。

また、エネルギーを作ることも重要ですが、同時に、エネルギーを使わないことも重要であります。町では、県内で唯一、既存住宅の断熱化など省エネルギー住宅への改修に関しまして、同様に風力発電の利益を活用して工事費の助成を行っておりますし、断熱の普及啓発としてDIY断熱ワークショップを行っており、環境への配慮と同時に健康に生活していただける住宅について推進しているところであります。町としては、エネルギーの自給という視点でこうした取り組みを行っておりますが、モデル住宅といった短期間での体験ではエネルギーを自給するメリットは実感しにくいのではないかと考えております。今後も助成制度や断熱の普及啓発などを実施し、エネルギーの自給を推進していきたいと考えております。

次に、食の自給についてですが、農地を耕し、鶏を飼育し、生活用水も自給するとなると、体験してみたいと思う方はあると思いますが、これを継続して生活を続けることは負担となる方のほうが多く、ニーズとしては少ないのではないかと考えております。また、御提案の体験施設となると、太陽電池等を含む施設、EV車、農地、鶏の飼育、井戸などの維持管理を誰がどうやってしていくかという問題も発生いたします。

こうしたことを考えますと、エネルギーの自給については移住促進のために行っていく

のではなく、既に行っている取り組みを持続可能なまちづくりの町の魅力としてPRしていきたいと考えております。また、食の自給につきましては、そうした移住を希望される方があれば丁寧に移住相談に応じ、移住を促進していきたいと思っております。

○議長（田村 佑市郎君） 鷺見議員。

○議員（9番 鷺見 萌君） 再度質問をさせていただきます。

コナンを活用するなど、ほかの地域にはない移住促進を考えていただきたいです。

○議長（田村 佑市郎君） 手嶋町長。

○町長（手嶋 俊樹君） コナンと言いますと、主に観光客というイメージが強いと思います。先ほど同僚の議員からもありましたが、例えば関係人口でありますとかそういうようなことからまずは進めていって、そこでそのステップとして移住促進というようなことになろうかと思えます。いきなりコナンを活用した移住定住というのは、いろんな問題もありますのでなかなか難しいとは思いますが、そういうステップアップをしながら対応させていただきたいと思えます。

○議長（田村 佑市郎君） 鷺見議員。

○議員（9番 鷺見 萌君） これで質問を終わります。

○議長（田村 佑市郎君） 以上で、鷺見議員の一般質問を終わります。

次に進みます。

○議長（田村 佑市郎君） 10番、加茂田楽夏議員。

○議員（10番 加茂田 楽夏君） 10番、加茂田楽夏です。北栄町産ブラックベリージャムを使用したパンを給食に出してみてもどうかと教育長さんに質問があります。

私たちのグループでは、地域産物を使用した商品開発をテーマに探究してきました。北栄町で栽培されているブラックベリーのジャムを利用したパンを、北栄町にある遠藤製パン所さんに協力してもらい作成し、豚の形をした「フジコパン」、亀の形をした「うめえーカメパン」という名をつけて、育英高校での昼食時のパン販売にて実際に販売してみました。すごく好評で30個全て完売し、北栄町産のブラックベリーをたくさんの育英生や先生方に知ってもらうことができました。

北栄町内の小・中学校の給食にこのパンを提供してもらい、北栄町で栽培されているブラックベリーを知ってもらうのはどうでしょうか。以上です。

○議長（田村 佑市郎君） 別本教育長。

○教育長（別本 勝美君） 加茂田議員の、北栄町産ブラックベリージャムを使用したパンを給食にについての御質問にお答えいたします。

地域探究の取組で、地元の加工品を使った商品開発はすばらしい取組だと思います。給

食のメニューや食材として利用することも、地産地消の推進であるとか郷土を知る教育にもつながる内容だというふうに思います。また、スタミナ納豆のように多くの方に愛される給食メニューが新たに誕生するのであれば、これもすばらしいことだというふうに思います。

一方、加茂田議員の御提案を実現するためには、2つの課題があると考えております。

1つ目が、パンの価格が給食費の単価に見合うかどうかという点。そして2つ目が、小・中学生全員が食べられるだけの必要な食数分を準備できるかどうかという点でございます。

現在の給食1食分の単価は、小学校が285円、中学校が340円です。この金額で主食であるパンや御飯のほか、おかずを作るための食材を賄わなければなりません。また、必要となる食数は、小・中学校の合計で1日当たり約1,400食が必要となります。

以上のとおり、解決すべき課題もあり実現は簡単なものではないかもしれませんが、もし課題が解決できなかったとしても、年に数回ある特別給食としてであれば利用可能かもしれません。特別給食は、子どもたちが喜ぶメニューであるとか、ちょっと高価な食材を使ったメニューなどその名のとおり特別な給食で、子どもたちが楽しみにしている給食でございます。ブラックベリージャムパンも、まずはこの特別給食で使えないか学校関係者で検討してみたいと考えております。

○議長（田村 佑市郎君） 加茂田議員。

○議員（10番 加茂田 楽夏君） すてきな回答ありがとうございました。

追加質問をさせていただきます。

もしもパン販売が難しい場合、どのようなことを考えたらよいか、いいアドバイスがあれば教えてください。

○議長（田村 佑市郎君） 別本教育長。

○教育長（別本 勝美君） まずは今、学校給食にということでの提案だったんですけども、ブラックベリーをたくさん栽培していただくこと、そしてそれをジャムにしてパンにするという、そういうところの確立、なかなかジャムにしてパンに練り込んでいくというのは非常に何か技術的に難しいというふうに聞いております。そういうところをもう少し深く探究していただいて、より身近な食材、食べ物になるように研究していただければなと思います。

1日で全てを賄おうということであれば、先ほど答弁しました1日1,400食が必要ですけども、今日は小学校だけ、明日は中学校というような、分割しての利用も可能であると給食センターのほうからも伺っておりますので、ぜひそういうジャムの確保、そしてパンに練り込む技術を確立するというような、そういうところを育英高校として地域探究で取り組んでいただければというふうに思います。

○議長（田村 佑市郎君） 加茂田議員。

○議員（10番 加茂田 楽夏君） ありがとうございます。これで質問を終わります。

○議長（田村 佑市郎君） 以上で、加茂田議員の一般質問を終わります。

次に進みます。

○議長（田村 佑市郎君） 11番、笹山知沙議員。

○議員（11番 笹山 知沙君） 11番、笹山知沙です。町長に質問があります。

動画配信サービスでコナン通りのPRについて質問があります。

現在、北栄町のホームページで公開されている動画についてですが、どの年代にスポットを当てて作成されているのか分かりにくいような印象を受けました。そのため、コナンファンの方々にターゲットを絞り、人気のYouTuberやコナンに登場するキャラクターの声優の方々、ほかにも主題歌を歌っておられる方や青山剛昌さんに頼んで、若者やファンの方々の心をつかむようなPR動画を作成してみたいかと思いますが、いかがでしょうか。以上です。

○議長（田村 佑市郎君） 手嶋町長。

○町長（手嶋 俊樹君） 笹山議員の御質問にお答えいたします。

動画配信サービスでコナン通りのPRについての御質問です。

北栄町のホームページで公開されている動画が、どの年代にスポットを当てて作成されているか分かりにくい印象とのことですが、そもそも町のホームページ、公式YouTubeサイトに上げている動画は、観光のためだけに制作・公開しているわけではありません。北栄町を広く知っていただくためのものであります。したがって、コナンをもっと知りたい方には物足りない面もあると思います。コナンの広報に関しましては、青山剛昌ふるさと館のTwitterで情報発信しておりますので、そちらを御覧いただければと思います。

次に、若者にターゲットを絞り、人気YouTuberやコナンの声優たちに頼みPR動画を作成してはどうかとのことですが、人気YouTuberやコナンの声優を活用することは著作権及び費用が発生することですので、費用対効果をしっかり考え慎重に検討する必要があると思います。

いずれにしましても、名探偵コナンに関しては北栄町のまちづくりに欠かせない大切なもので、PR動画に限らず様々なコンテンツを活用しコナン通り、青山剛昌ふるさと館、名探偵コナンに会えるまち北栄町のPRに努めてまいりたいと思います。

○議長（田村 佑市郎君） 笹山議員。

○議員（11番 笹山 知沙君） 再度質問をさせていただきます。

北栄町のホームページからPR動画を拝見した際、PR動画がどこにあるのか分かりに

くいような印象を受けました。だから、ホームページを開いてすぐPR動画を見つけられるようにしていただきたいのですがいかがでしょうか。以上です。

○議長（田村 佑市郎君） 手嶋町長。

○町長（手嶋 俊樹君） ありがとうございます。こういうホームページから即いろんなところに行ける、行ったほうが良いというのはいろいろな御意見いただいております。この動画だけではなく、本当に自分が知りたい、例えば子育て支援であったりとか、すぐそのホームページの中に行きやすいように気をつけておりますが、なかなか全部を網羅するというのは難しいです。具体的に対策を今持っているかどうかは分かりませんが、担当課の課長のほうに説明をさせます。

○議長（田村 佑市郎君） 小澤課長。

○企画財政課長（小澤 靖君） 北栄町のホームページを見ていただきますと、画面の右側のほうにフェイスブックの画面がすぐに出るようにしております。フェイスブックの中で、今年の1月からコナン通りを紹介する動画を毎月1回上げていこうということで作っております。フェイスブック1回上げたらすぐ町のホームページのすぐ右側に最新のフェイスブックの画面が出るようにしておりますので見ていただければと思うんですけど、1つ課題がありまして、その時に見ないと結局新しい情報に変わってしまいますので見られないということもありますので、今御意見いただきましたので、どういったふうにして注目してもらえるかということは今後検討してホームページをまた改良していきたいと思えます。御意見ありがとうございました。

○議長（田村 佑市郎君） 笹山議員。

○議員（11番 笹山 知沙君） 以上で質問を終わります。

○議長（田村 佑市郎君） 以上で、笹山議員の一般質問を終わります。

次に進みます。

○議長（田村 佑市郎君） 12番、石川遥斗議員。

○議員（12番 石川 遥斗君） 12番、石川遥斗です。大栄中学校に和太鼓の購入について教育長にお聞きします。

現在、活動で使用している和太鼓は倉吉打吹太鼓奏者の会から借りています。以前は、大栄小学校で使用されていた黒ぼく太鼓用の太鼓を使用していました。しかし、小学生用の太鼓で、高校生にはサイズが小さく迫力が伝わりにくい物でした。

大栄小学校では、現在黒ぼく太鼓はここ2年実施されてない状況です。大栄中学校の3年生しか太鼓経験がなく、太鼓の伝統文化が薄れつつあります。

そこで、ぜひ、大栄中学校に大人サイズの和太鼓を購入していただき、育英高校でもお

借りしたいと考えていますがいかがでしょうか。

高校生がレインボー交流を通して小学生に太鼓の魅力を伝えることもできます。興味関心を持ってくれた子どもたちが、教育活動の一環として活動できると思います。以上です。

○議長（田村 佑市郎君） 別本教育長。

○教育長（別本 勝美君） 石川議員の、大栄中学校に和太鼓の購入をについての御質問にお答えいたします。

黒ぼく太鼓の活動は、現在、小学生十数人が大人の指導者と一緒に週1回のペースで行っています。過去には何年か活動が中断されていた期間があり、太鼓の叩き手が育たない、技術を後世に伝えられないといったことが心配されるときもありましたが、しかし現在は活動も再開され、私としてもこの活動が長く継続されることを期待いたしております。黒ぼく太鼓の関係者の方から聞いています現在の課題は、指導者を増やすこと、過去から伝わってきた叩き方を正確に引き継いでいくことのようなのです。

一方、中学生世代の活動に目を向けますと、小学生時代の経験者であった中学3年生が引退し、中断期間のため小学生のときに太鼓を経験していない生徒ばかりになっていますので、この中学生世代の活動人数の維持も心配される点だというふうに考えております。

現在、大栄中学校と大栄小学校は、学校と地域とが共通の目標を持ち連携・協働して子どもたちの教育を進めていくというコミュニティスクール事業を行っております。このコミュニティスクール事業の中でも、黒ぼく太鼓に取り組むこととしていますので、今後、活動が活発になることを期待しているところでございます。

さて、大栄中学校で和太鼓を購入しそれを高校が借りることができないかという点でございしますが、中学校での購入は現時点では難しいと考えております。しかし、仮に購入した場合、定期的に通年で練習することになりますので貸出しはできませんが、学校に来ていただいて利用していただくことは可能だというふうに考えております。

しかしながら、鳥取中央育英高校でも和太鼓の活動を活発に行っていただきたいという思いもございしますし、世代や活動の場を限定せず和太鼓の活動の輪が広がればという思いもございします。大人用の和太鼓は、北条地区で行っております北条砂丘太鼓で使用しているものがあります。一時的な貸出しは可能ですので、ぜひ御相談をしていただければと思います。

また、鳥取中央育英高校として黒ぼく太鼓を演奏していきたい、黒ぼく太鼓を継承していきたいという意向があり、高校の太鼓の演目に黒ぼく太鼓が加わり、さらに大栄小・中学校の生徒たちの指導者として活動していただける状況になれば、その段階で検討していきたいと考えております。

○議長（田村 佑市郎君） 石川議員。

○議員（12番 石川 遥斗君） 追加質問があります。

僕は、先輩の太鼓の演奏を聴いて太鼓の魅力を感じました。ですので、高校生が小・中学生に演奏をもっと聴いてもらう機会を増やしてほしいです。

○議長（田村 佑市郎君） 別本教育長。

○教育長（別本 勝美君） 大栄小学校、中学校の児童生徒の皆さんが練習をしておりますので、ぜひその場所に来ていただいて模範的な太鼓の演奏を披露していただければというふうに思いますし、北条砂丘太鼓、北条側にあるやつなんですけども、そこも定期的ということではございませんが、ようやく以前活動していたものが復活をして現在活動を始めておりますので、そこでも参加して太鼓を披露していただく、そして北条砂丘太鼓も併せて聴いていただければと思いますのでよろしく申し上げます。

○議長（田村 佑市郎君） 石川議員。

○議員（12番 石川 遥斗君） 以上で終わります。

○議長（田村 佑市郎君） 以上で、石川議員の一般質問を終わります。

次に進みます。

○議長（田村 佑市郎君） 13番、川上千尋議員。

○議員（13番 川上 千尋君） 13番、川上千尋です。風力発電について質問させていただきます。

風力発電の風車は、北栄町がクリーンエネルギーを生成しているという象徴としての役割もありました。風力発電によって電力やお金などの恩恵がもたらされる反面、鳥などの生態系や人間への健康被害など考慮すべき点もあると思います。

風力発電所の耐用年数が近づいているということで、今後稼働を継続し続けるのかどうか、町民が納得する形の説明が必要であると思います。以上です。

○議長（田村 佑市郎君） 手嶋町長。

○町長（手嶋 俊樹君） 川上議員の御質問にお答えします。

風力発電についての御質問でございます。

風車は、北栄町の環境にやさしいまちづくりのシンボルとして平成17年に建設、運転を開始し、現在16年が経過いたしました。

平成25年度からは収益の一部を一般会計に繰り出し、これまでに4億7,000万円を風のまちづくり事業として小・中学校施設の照明のLED化や空調設備の導入など環境や教育の充実を中心にまちづくりに役立てております。

また、9基の風車は北栄町内の一般家庭数を上回る約6,000戸分の発電能力があり、運転開始から令和2年度までに3億2,000万キロワットアワーを発電し、CO₂の削減に換

算すると17万トン、東京ドーム70杯分のCO₂の削減に寄与してまいりました。このことは、質問の内容にもありますように町民に多くの恩恵をもたらし、愛着や誇りを感じていらっしゃる町民の皆様の声も届いているところであります。

現行風車の効果や稼働状況などは、これまで同様に町報やホームページなどでお知らせしながら、稼働の継続や今後の対応についても町民の皆様に御理解いただけるよう機会を捉えて説明していきたいと考えております。

また来年度、北栄町は2050年のゼロカーボンに向けて脱炭素ロードマップの策定を予定しております。その中で、現行風車を含めた再生可能エネルギーの在り方についても検討を進めてまいります。策定には町民の皆様の納得も必要と考えておりますし、様々な視点からの検討が重要と考えます。この取組には、これからの社会を担う皆さんのような若い方々の視点も重要と考えます。ぜひ、計画策定に関わっていただき、正しい情報を確認しながら様々な御意見をいただければと思います。このような取組を一つ一つ積み重ねていくことが、町民の皆様の納得につながっていくと思います。

○議長（田村 佑市郎君） 川上議員。

○議員（13番 川上 千尋君） 以上で質問を終わります。

○議長（田村 佑市郎君） 以上で、川上議員の一般質問を終わります。

○議長（田村 佑市郎君） 以上をもって、本日の日程は全て終了しました。

これにて、令和3年度北栄町高校生議会を閉会します。

午前11時14分閉会

高校生議長あいさつ

○議長（田村 佑市郎君） 本日は御多忙の中、高校生に御協力していただきありがとうございました。北栄町の明るい未来のため、僕たちもできることを考え取り組んでいきたいと思っております。どうもありがとうございました。

上記会議の経過を記載して、その相違ないことを証するためここに署名する。

高校生議会議長

署名議員

署名議員